

令和8年度第1回病院運営審議会 議事録

日時：令和8年9月2日（水）

午後3時30分～午後4時45分

場所：湯沢町総合福祉センター2F 会議室

欠席者等：1名

【議事録要約】

1. 報告事項

①湯沢町病院運営審議会について（資料1）

②湯沢町保健医療センターの概要について（資料2）

委員：外科が休診中との事だが今後の見通しはどうか。部門別人員に関連して、センターだよりも職員募集が掲載されているが、どの部門が不足しているのか。（後程湯沢病院から直接回答）

③令和7年度病院事業会計決算について（資料3-1、3-2）

委員：資料3-2に記載されている工事・修繕及び医療器械等の金額は、資料3-1のどの部分に記載されているのか。

事務局：資料3-1の4ページ、資本金的支出の建設改良費が主であり、軽微なものなどは収益的支出の修繕費からも支出している。

委員：資料3-1の7ページ、人件費の割合は増えているのか。

事務局：非常勤ではあるが医師の補充がされたことと、ベースアップによるもの。

委員：予算時と決算時で大きく違ったものはあったか。

事務局：大きく違ったものはないが、突発的な修繕などがあった。

委員：一般会計からの繰入金の推移はどうか。

事務局：コロナ関連の補助金が増額となった事はあったが、病院事業会計のキャッシュフローなどを考慮して繰入金は調整している。

委員：資料3-1の7ページ、一番下段の当年度純損失はどのように補てんしているのか。

事務局：町と湯沢病院の会計を合算して全体として把握できるようにした金額なので、具体的に何で補てんしたということはなく、全体として見た時の目安としていただきたい。

④町立湯沢病院等の中長期整備計画について（資料4）

委員：どこの業者に委託したのか。

事務局：湯沢病院を建設した当時の業者が一番把握しているので、その業者に委託した。

委員：10年間の総額の中には医療器械は含まれるのか。

事務局：建物と付帯設備についての計画なので含まれていない。総額はあくまでも想定額だが、その間に医療器械の大きな更新もあると考えている。

委員：財源はあるのか。

事務局：国の補助金は今のところないので、長期借入などで対応していく。それにより一時的に多額の支払いが生じないように平準化していくことができるようになる。

～湯沢病院出席～

2. 審議事項

①湯沢病院に対するご意見等について（資料5）

委員：耳鼻科などの専門診療科があるとよい。

湯沢病院：常設した場合、専用ユニットの導入や診察室の拡張、医師確保が課題となる。年2回の学校健診は外部の医師にお願いし、総合診療科で対応できる事は対応しているので現行維持を考えている。

委員：外科について。

湯沢病院：医師の他にスタッフの確保、手術体制の課題を踏まえ、手術などは基幹病院へ紹介し、応急対応や他院連携でカバーしながら現行方針を維持する。

委員：人材が不足している部門について。

湯沢病院：リハビリと看護部門が不足。医師の当直体制はやや緩和。事務は充足してきている。施設は有資格者が1名で行っている。

委員：受付方法について、あれこれ変わらないでもらいたい。

湯沢病院：費用と利便性を考えて対応している。費用がかかるプラスチックのカードを廃止し紙運用へ変えた。予約者は予約票、初診者はマイナンバーカードまたは資格証で受付可としているが、案内の仕方を徹底していく。

委員：全国で色々な災害が起こっているが、そのような場合の計画や想定した訓練は行っているのか。

湯沢病院：院内に防災委員会があり計画に基づいて災害対策の訓練も行っている。

3. その他

湯沢病院：6月に診療報酬が改定され、収入は若干増となったこと、病棟の稼働率の改善により赤字幅は縮小傾向である。

事務局：湯沢地区の代表町内会長が任期により交代となった。